

平成30年7月13日（金）
国土交通省関東地方整備局
総務部

記者発表資料

関東地方整備局入札監視委員会 審議概要 (第二部会 第1回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会第二部会の第1回定例会議が、平成30年6月29日、さいたま市内で開催され、工事2件、建設コンサルタント業務等2件、役務の提供等2件の入札結果が審議されました。
審議内容は別紙のとおり。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会
横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

〈第二部会〉

国土交通省関東地方整備局
神奈川県横浜市中区北仲通5丁目57番地
横浜第2合同庁舎
電話 045-211-7413（代）

総括調整官	岡本 雅夫	(内線5704)
契約管理官	四家 弘行	(内線5880)
経理調達課長	堀川 雅弘	(内線5870)
品質確保室長	小笠原政之	(内線5797)

平成30年度

関東地方整備局 入札監視委員会第二部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び開催場所	平成30年6月29日(金) 関東地方整備局 共用中会議室503		
委員	長 井 宏 平 (東京大学 准教授) 長 友 昭 (拓殖大学 准教授) 手塚 広 一 郎 (日本大学 教授)		
審議対象期間	平成30年1月1日～平成30年3月31日		
審議案件	総件数	6件	
工 事			
一般競争入札方式		2件	
	政府調達	1件	
	政府調達以外	1件	
建設コンサルタント業務等		2件	
物品・役務		2件	
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答等	意見・質問		説明・回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容			

○ 問い合わせ先

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎

電話 045-211-7413 (経理調達課)

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会第二部会事務局

総括調整官 岡 本 雅 夫

契約管理官 四 家 弘 行

経理調達課長 堀 川 雅 弘

品質確保室長 小笠原 政 之

意見・質問	説明・回答
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況について (2) 指名停止等の運用状況について</p> <p>○今回の審議対象期間においては、指名停止者数が多いと感じるかなにか要因はあるのか。</p> <p>(3) 再度入札における一位不働状況について (4) 事務所の平均落札率の推移状況について</p>	<p>○今回の審議対象期間におきましては、公正取引委員会の独占禁止法違反に基づく排除措置命令や地方検察庁の起訴等を要因とする指名停止措置案件が重なった事が影響しているものと思われます。</p>
意見・質問	説明・回答
<p>【事案1】</p> <p>一般競争入札方式（政府調達・空港等舗装工事） 「東京国際空港B滑走路取付誘導路他舗装等工事」</p> <p>○今回の入札において辞退が2者との事だが理由は何か。</p> <p>○多数の工事が発注される中で、資格要件の設定は重要な事だと思うが、参加資格を引き下げることで申請者を増やすことは可能か。それとも品質確保の観点で従来の資格要件を守って行く事が大切か。どのようにお考えか。</p>	<p>○落札決定後にヒアリングを実施したところ、2者ともに他工事の受注により技術者の手配ができなくなったとの理由でした。</p> <p>○ご指摘のとおり、資格要件の設定は受注機会の拡大と品質確保の観点等から重要なことと考えております。一方、技術者に係る要件については施工経験のみを求めており、これ以上の要件緩和は難しいと考えております。また、企業に求める要件につきましては、発着頻度の極めて高い空港の工事であることから、安全管理と品質確保等の観点から、従前よりの要件設定が必要なものと考えております。</p> <p>現在のところ、入札参加者も確保され、所要の品質も確保されているものと考えております。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>【事案2】 一般競争入札方式（政府調達以外・港湾等しゅんせつ工事） 「鹿島港外港地区航路・泊地（－14m）浚渫工事（その3）」</p> <p>○1社が調査基準価格を下回った理由は、</p> <p>○調査基準価格を下回った場合、その者は次の手続きには移らないのか。</p> <p>○比較的簡単な工事に見受けられるが、技術提案の配点は適切なのか。</p>	<p>○直接工事において土運船による運搬において当局積算の－27%と他社と比較してもかなり下回っています。入札参加者側の積算に間違いがあったと推測します。</p> <p>○入札価格が調査基準価格に満たない者に対しては、施工体制の確保を含め契約の内容に適合した履行がされないおそれがあることから、品質確保の実行性及び施工体制確保の確実性を審査するため、追加資料の提出を求めヒアリングを実施します。今回は追加資料の提出とヒアリングを辞退したため、入札に関する条件に違反したものとしてその者の入札を無効としたものです。</p> <p>○利用中の岸壁の前面での浚渫であり、また浚渫土砂を捨てる場所は漁船などが航行する海域であることから、安全対策、施工計画等で工夫が必要な工事です。このため施工計画について技術提案を求めたもので、適切な配点であると考えております。</p>
<p>【事案3】 簡易公募型競争入札方式（測量・調査） 「横浜港本牧沖海底状況調査」</p> <p>○無効の者については、履行確実性に関するヒアリングを辞退したということだが、辞退の理由は？</p>	<p>○入札価格が調査基準価格に満たない者に対しては、技術提案等の確実な履行の確保を含め、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあることから、履行確実性に関する審査のため、追加資料を求めヒアリングを実施します。今回は期日までに追加資料の提出が出来ないとの事でヒアリングを辞退しています。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>○シングルチームで調査を行うより、マルチチームで調査を行う方が、精度が良いのか。</p>	<p>○今回は、新しい埠頭の配置を含めた計画を検討するため全体像を把握する必要があり、面的な計測手法を用いる方が、効率性、生産性が高いと判断し、マルチチームでの調査を選定しました。</p>
<p>【事案4】 簡易公募型プロポーザル方式（建設コンサルタント等） 「横浜港新本牧ふ頭地区岸壁他基本設計」</p> <p>○業務成績の平均点が1点上がるごとに評価点は6点上がるようになっているが、こういった考えなのか。</p> <p>○業務成績の平均点が78点以上の者は、評価点30点が最大でそれ以上は加点されないのか。</p> <p>○参加資格要件に「計画水深－10m以深」における岸壁等とした理由は何か。</p>	<p>○過去の成績点は企業や配置予定技術者の能力を評価するにあたって重要な要素と考えております。</p> <p>従来までの評価方法では、業務成績の評価において差がでなかったことから、評価点の加算範囲を業務成績の平均点70点から78点の間において、2点毎に6点の加点としていたものを、70点から73点を0点とし、各社の業務成績の集中する74点から78点の範囲を1点毎に6点の評価点を加点とすることで、成績をより明確に評価に反映させるよう改善を図ったものです。</p> <p>○評価点の加点はされませんが、業務成績点80点以上の業務については、局長、部長又は事務所長表彰の対象となっております。当該表彰を受けた場合は、優秀技術者表彰として別途として加点されるよう考慮されています。</p> <p>○－10m以深の岸壁等については、公共安全その他の公益上影響が著しいと認められる施設であることから、港湾の施設の技術上の基準において、適合性の確認が必要となっており、高度な技術的知見が必要となるためです。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>【事案5】 一般競争入札方式（役務の提供等） 「東京湾中央航路航路調査船「べいさーち」船首改修整備業務」</p> <p>○件名だけを見ると特殊なものに思えたが、内容を聞いてみると単純そうにも思えた。建造した造船所でないと、内容を理解できないということはないか。</p> <p>○資料を閲覧できることになっているが、これをみれば造船所は船舶の構造を理解できるのか。船舶を建造した造船所でないと修理できないのではないか。そうであれば、競争する手続きをしなくてもよいのではないか。</p>	<p>○業務件名で船舶の種類を船舶名の前に付けることは、船舶の修理業務においては全国での通例です。 業務内容はご指摘のとおり特別なものではなく、造船所であれば特記仕様書を読んで理解できる内容と考えております。</p> <p>○本船は一般的な単胴船であり、特殊な構造ではありません。建造時の図面を造船所が閲覧すれば構造も理解できると考えております。今回の業務のような簡易な内容の改修では他の造船所でも対応が可能なので、一般競争入札が妥当であると考えております。</p>
<p>【事案6】 一般競争入札方式（物品の販売） 「千葉港湾べいくりん多項目水質計他購入（その2）」</p> <p>○1者しか入札しないのは何か理由があるのか。そもそも競争入札にする必要があるのか。</p> <p>○その2となっているが、その1でも競争になっていたのか。工程を参考までに教えて欲しい。</p>	<p>○一般に販売されているものであるため、一般競争入札としております。入札が1者なのは既設機器との整合等を考慮されたのではないかと推測されます。</p> <p>○その1として12月27日に公告しましたが、仕様書に記載ミスがあり1月24日に入札契約手続きを取り止めました。その2として2月6日に再公告しました。</p>
<p>【まとめ】 本日の審議に関して、特に意見の具申及び勧告はなし</p>	

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	東京国際空港B滑走路取付誘導路他舗装等工事	空港等舗装工事	4	2	H30.2.15	日本道路株式会社	1,252,800	91.1	
一般競争入札方式	鹿島港外港地区航路・泊地（-14m）浚渫工事（その3）	港湾等しゅんせつ工事	6	4	H30.3.1	東亜建設工業株式会社	516,780	90.2	

【測量・調査】

入札方式	業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型競争入札方式	横浜港本牧沖海底状況調査	測量・調査	3	3	H30.3.8	川崎地質株式会社	16,200	78.5	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	提案書提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	横浜港新本牧ふ頭地区岸壁他基本設計	建設コンサルタント等	9	5	H30.3.15	八千代エンジニアリング株式会社	49,680	99.6	

【役務の提供等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	東京湾中央航路調査船「べいさーち」船首改修整備業務	役務の提供等	1	1	H30.1.25	新潟造船株式会社	14,364	97.7	
一般競争入札方式	千葉港湾べいくりん多項目水質計他購入（その2）	物品の販売	1	1	H30.2.27	ワイエスアイ・ナノテック株式会社	8,532	92.4	